

## 令和4年度 前期学校評価について

先日はお忙しい中アンケートにお答えいただきありがとうございました。集計の結果がまとまりましたので報告いたします。（集計の結果は四捨五入し%で表示しているため、1名の回答があっても0%と表示されているものがあります。ご了承ください。）

			はい	だいたい	あまり	いいえ	わからない
設問 1	児童	勉強がよくわかりますか	52	40	6	1	1
	保護者	お子さんは勉強がよくわかるといっていますか	27	58	11	3	2
	教職員	よくわかる授業	24	62	5	0	10
設問 2	児童	家で毎日学習していますか	54	25	13	7	2
	保護者	お子さんの家庭学習は習慣化していますか	33	45	18	4	0
	教職員	家庭学習が習慣化する指導	29	48	10	0	14
設問 3	児童	すすんであいさつをしていますか	50	30	13	5	2
	保護者	お子さんはすすんであいさつしていますか	31	45	18	5	2
	教職員	すすんであいさつをする指導	71	29	0	0	0
設問 4	児童	きまりを守っていますか	51	40	6	2	2
	保護者	お子さんはきまりを守っていますか	35	51	12	1	1
	教職員	きまりを守る指導	90	10	0	0	0
設問 5	児童	友達を大切にしていますか	81	16	2	0	2
	保護者	お子さんは友達を大切にしていますか	74	22	1	0	3
	教職員	誰もが大切にされる学級づくり	43	52	0	0	5
設問 6	児童	誰からも大切にされていますか	49	25	6	3	17
	保護者	お子さんは誰からも大切にされていますか	81	18	1	0	1
	教職員	誰もが大切にされる学級づくり	57	29	0	0	14
設問 7	児童	早寝・早起きをしていますか	33	40	17	8	2
	保護者	お子さんは規則正しい生活ができていますか	40	48	9	3	0
	教職員	規則正しい生活の指導	57	29	10	0	5
設問 8	児童	安全に気をつけていますか	76	20	2	1	1
	保護者	お子さんは安全に気を付けていますか	46	48	5	0	1
	教職員	安全についての指導	76	24	0	0	0
設問 9	児童	学校が楽しいですか	64	23	9	4	1
	保護者	お子さんは学校が楽しそうですか	60	32	5	1	2
	教職員	学校が楽しいと思える学級づくり	57	19	5	0	19
設問 10	児童	困ったときは誰かに相談していますか	50	25	11	11	2
	保護者	お子さんは困ったときは誰かに相談していますか	47	40	7	1	5
	教職員	相談しやすい人間関係づくり	43	52	5	0	0
設問 11	児童	どんなことにもすすんで取り組んでいますか	41	42	12	2	3
	保護者	お子さんは何事にも積極的に取り組んでいますか	28	50	21	1	0
	教職員	主体性を育む指導	33	52	10	0	5
設問 12	児童	自分には良いところがあると思いますか	48	23	11	8	10
	保護者	お子さんは自分の良さを意識できていますか	27	50	16	2	5
	教職員	自尊感情を育む指導	19	71	5	0	5
設問 13	児童	将来の夢やしてみたい仕事はありますか	76	7	5	9	3
	保護者	お子さんと将来の夢や職業について話していますか	40	32	23	5	1
	教職員	将来の夢や職業について意識させる機会の設定	24	38	14	5	19

この学校評価アンケートは、「学校教育目標」や「めざす子ども像」の具現化に向けた各種取組を、児童・保護者・教職員から見た実現度を比較するためのアンケートです。比較分析のため、例年アンケートの質問は同じにしていますが、今回音羽中学校、大塚小学校、音羽小学校と内容を共通化したため設問5と設問13を追加しています。中学校ブロック4校で連携し、現在の学校の取組を評価し、今後の学校運営や学級経営に生かすことをねらいにしています。

集計すると昨年度同様、概ね「はい」「だいたい」が80%程度の肯定的な結果が出ています。今回から追加の設問5「友達を大切にしているか」については特に肯定的な回答が多い結果となっています。また、本校がここ数年ずっと課題として挙げている「自己肯定感(自尊感情)」についてもまだ他の項目と比較すると低めではありますが、確実に肯定的な回答が増えてきています。引き続き「自分も友達も大切にできる」姿、「主体的に活動を楽しむ」姿を目指して取組を続け、タイムリーに児童を評価をすることを積み重ねていきたいと思っています。

もう一つの追加項目、設問13「将来の夢」についての結果からは、児童の夢や将来展望に対して、教員や保護者が十分に関わっていないことがあると考えられます。学校では夢や将来展望について考える機会を意識して増やしていこうと考えています。家庭でも、お子さんと将来の夢について話す機会をぜひ作っていただきたいと思っています。引き続き、本校教育活動にご理解ご協力をよろしくお願い致します。